



2016 年 3月

第249号

The Service Club of The YMCA

東京八王子 ワイズメンズクラブ

会 長 長谷川 あや子
副会長 中塚 辰生 望月 隆珉
書 記 山本 英次
会 計 小口 多津子
林外会長 大久保 重子
担当主事 中里 敦
ブリテン 山本 英次・茂木 稔
大久保 清
直前会長 久保田 貞視

国際会長主題 Wichian Boornapajorn(タイ) 「信念のあるミッション」
スローガン: "Count Your Blessing" 「恵みを数えよう」
アジア地域会長主題 Edward K. W. Ong (シンガポール) 「愛をもって奉仕をしよう」
スローガン: "Let it Begin with Me" 「まず自分から始めよう」
東日本区理事主題 渡辺 隆 (甲府): 「原点に立って、未来へステップ」
"Stand at the origin and take a step for the future"
あずさ部部長主題 標 克明 (甲府) 「ワイズメンとして一歩前進」
クラブ会長主題 長谷川あや子 (八王子) 「若い人の成長を願い、ともに歩む」

第18回チャリティーコンサート

…東日本大震災被災者支援と地雷廃絶のために…

日 時 2016年3月12日(土)

14時開演(開場13時30分)

会 場 八王子市北野市民センター 8階ホール

出演者 三上 佳子(ソプラノ) 川村 敬一(テノール)

大杉 祥子(ピアノ)

“プログラム”

第一部「パリに思いを馳せて」

・夢のあと(フォーレ作曲)、レクイエム「ピエ イエズ」
(フォーレ作曲)

・パリ旅情(深谷須磨子 作詞 高田 三郎 作曲)

・お菓子と娘(西条八十 作詞 橋本国彦 作曲)

・オー、シャンゼリゼ

(マイク ガーディアンとマイク ウイルシュ作詞・作曲)

・ピアノ演奏

亜麻色の髪の乙女(ドビュシー)

ゴリウオーグのケーキ・ウオーク(ドビュシー)

第二部「春です 桜です」

・さくら横ちょう(加藤周一 作詞 中田喜直 作曲)

・さくら横ちょう(加藤周一 作詞 別宮貞雄 作曲)

・荒城の月(土井 晩翠 作詞 滝 廉太郎 作曲)

・電話(薩摩 忠 作詞 湯山 昭 作曲)

・船頭小唄(野口雨情 作詞 中山晋平 作曲)

・ピアノ演奏

・幻想曲「さくら さくら」(平井康三郎 作曲)

・みなさんで歌いましょう

・春の歌(野口雨情 作詞 草川信 作曲)

・花(武島羽衣 作詞 滝廉太郎 作曲)

・さくら さくら(日本古謡 山田 耕筰 作曲)

★最後に、皆さんで「花は咲く」をうたいましょう

先月の例会ポイント(2月)		BFポイント	
在籍	18名	切手(国内・海外)	0g
メン	13名	累計	1403g
メイキャップ	0名	現金	0円
出席率	72%	累計	0円
メネット	5名	スマイル	7,060円
ゲスト	8名	累計	66,111円
ビジター	4名		
ひつじぐも	4名	オークション	10,880円
		累計	0円

(聖句)

「小さな者にも大きな者にも、富める者にも貧しい者にも、自由な身分の者にも奴隷にも、すべての者にその右手か額に刻印を押させた。そこで、この刻印のある者でなければ、物を買うことも、売ることもできないようになった。

この刻印とはあの獣の名、あるいはその名の数字である。ここに知恵が必要である。賢い人は、獣の数字にどのような意味があるかを考えるがよい。数字は人間を指している。そして、数字は六百六十六である。」

(黙示録13章16節~18節)

巻頭言

18回目を迎えるコンサート

長谷川 あや子

八王子クラブのチャリティコンサートも今年 18 回目を迎えます。ワイズメンズクラブ国際協会創立 75 周年を記念し、八王子クラブでも何か地域の皆さまに喜んで頂けるものをと、八王子市在住の三上佳子さんのソプラノコンサートを 1997 年に開催して以来、東日本大震災のあった 2011 年春は断念しましたが、脈々と回を重ね、今年は 18 回目を迎えることができました。

ソプラノの三上佳子さんと、テノールの川村敬一さん（昨年は朗読をして頂きました）のコンサートです。1998 年からは入場整理券 1000 円を頂き、収益はすべて地雷廃絶日本キャンペーンに寄付してきました。

2012 年からは東日本大震災支援と地雷廃絶運動に協力することをチャリティコンサートの目標に掲げ、この主旨に賛同して下さる演奏家に恵まれて毎年コンサートを開催することができました。

対人地雷の被害者は、兵士よりも地雷が埋められている地域で生活している人々のほうが多いと聞きます。とりわけ子どもが、おもちゃのような形をした地雷に触れて大怪我をするという悲劇も後を絶ちません。一日も早く地雷のない平和な世界の実現を目指したいと思います。

あの東日本大震災から 5 年が経ちますが、復興の道りはまだまだ遠いのが現状です。私たちに出来る事はささやかですが、被災された方たちに少しでも思いを寄せ、忘れないことが一番の支援だと思います。

クラブ最大の行事としてメン、メネット、それに今では彼らの協力なしには考えられないほど頼りにしている中大学 Y ひつじぐもの皆さんとともに準備を進めています。コンサートの前の週の八王子駅前での街頭募金は、若い皆さんの力強い声があればこそ募金も集まります。寒い季節ですががんばりましょう。

例年、会場のロビーには地雷関係の展示をいたしますが、今年は中大学 Y のみなさんの東北支援活動の展示も行います。

誰もが平和で穏やかな日々が送れますように祈りつつチャリティコンサートの準備を進め、当日は心をこめてお客様をお迎えし、楽しいコンサートにいたしましょう。

あずさ部「きさらぎ評議会」に出席して

小口多津子

2月13日（土）松本クラブがホストの評議会に、会長の長谷川さんと会員増強事業主査の並木さんと私とで出席し

てきました。場所はこれまで何度も評議会や留学生アジア賞作文コンテストの授賞式にも伺ったことのある松本市。その中心地のあがたの森文化会館でした。大正時代の洋風校舎、旧制松本高校の木造校舎の中の教室でした。卒業生の北杜夫は著書「どくとるマンボウ青春記」の舞台にもしました。重要文化財に指定されている所でした。八王子から西への評議会や部会はこれまで富士吉田市、甲府市、そして松本へ行き、ある意味ではこの旅行気分は、もう一つの評議会の楽しみ方です。

標部長（甲府クラブ）の冒頭の第2回区役員会報告がとても良かったです。ワイズメンズクラブの中では何が起こったのか、何が決まったのかという最新の動向が伺えました。目新しいことでは、① 区費のヤングメンバーへの補助制度が廃止か続行かが考えられ、新たな補助が提案されること。② 日本大震災支援の今後のあり方について意見がまとまらず次回の役員会で対応を再考する。

あずさ部は、会員がこの2月現在で188名。（甲府クラブ2名、長野クラブ1名、甲府21が2名、武蔵野多摩3名の入会があった。）

国際・交流事業主査の小原さんからは、小山久恵さん（東京サンライズ）がBF代表として2015年10月5日から1か月間オーストラリアを訪問されたことの報告でした。CS事業主査の後藤さんからの報告は、今年のCS事業助成金（20万円の配分）の案が了承されました。その助成金を受ける内容は、武蔵野多摩クラブ（国立さくら祭り、2万円）松本クラブ（アジア賞作文コンテスト、5万円）、甲府21クラブ（障がい者フライングディスク大会、3万円）、たんぽぽYサービス（わくわく歌声サロン、4万円）、富士五湖クラブ（障がい者フライングディスク大会、6万円）でした。

八王子クラブのチャリティーコンサートは、入場料を頂く事業なので前年度からは助成金対象外となっています。今回の、昼食の時の懇談会はテーマが良く、グループ分けの楽しい雰囲気でした。テーマは、「ワイズを元気にする方法」ただし、条件があって、マイナス思考や反対意見は禁物でした。いつもの良く見知った仲間との話し合いは楽しかったです。評議会の中身が今までとずいぶん変わってきたと感じたのは、部長さんの方針でもあるのですが、



あずさ部に集う我々の交流が楽しいものであれば、それがクラブに反映し、増員にも繋がるということが評議会に出席することで判りました。

松姫と徳川家康

岡垣修武 {高尾山登山会員}

村瀬彰吾氏の時世にマッチした題目の話題性と話術に引き込まれた1時間45分、残念ながら時間不足で家康に少し触れる所で時間切れとなりました。八王子千人同心を含めて続編を再びお願いしたいものです。

卓話の概要はブリテン2月号に同氏が特別寄稿されている通りですが、松姫時代を少し時系列的に捉えようと理解が容易になるとの事でした。

関ヶ原の戦いが1600年。これから10年遡って1590年。更に10年で1580年。これから2年戻して1582年が世上の大転換。武田信玄{1575年没}を継いだ勝頼が死去して武田家滅亡。3か月後には本能寺の変で織田信長と長男信忠死去した。

信忠は松姫が政略の具に使われ信忠と婚約、婚約破棄を重ねた相手です。これにより松姫の運命が激変して八王子に向けての逃避行となり、八王子では家康の庇護を受ける事になるのだが、1590年には小田原城落城で北条氏滅亡、豊臣秀吉の天下になったが、1600年の2年前の1598年に秀吉が死去し、1600年の関ヶ原のあと大阪冬、夏の陣を経て徳川家康天下となり、1616年4月17日に死去となる。

その一日前に松姫は生涯を閉じていたというのです。覚えやすいですね。

松姫一行は旧甲州街道辺りの道を真っすぐ東に進み八王子に着きそうなものですが、そうでもなかったようです。

山梨観光ガイドを見ていると、大菩薩峠の東の葛野川上流に松姫湖、松姫峠、松姫トンネルと松姫の名前の付いた場所があり、このトンネルを多摩湖方面に行き、そして南下して講演に有った和田峠、陣馬山をたどって八王子に出たようです。大菩薩峠南部、現在のJR甲斐大和駅の北部の天目山が勝頼の自刃場所だから、一行は人目を避けるためあえて北に向かい、付き添いの武田遺臣の助言やら武田の忍びの者の道案内で大菩薩嶺の山岳部に入ったのでしょうか。あの大菩薩峠越えです。中里介山の大菩薩峠よりも250年前の時代背景だから隠れ道も無かったろうし、道なき道を歩んだのでしょうか。我等高尾山登山会では高尾山山頂より景信山、陣馬山まで数度足を伸ばしていますが、陣馬山より松姫ルートを逆走して大菩薩峠にたどる事は、さて可能でしょうか。

今年は松姫没後400周年で松姫祭が信松院{JR八王子



南口近く}で開催されているようです。生涯独身を通し、恋し続けた信忠の信と松姫の松を繋げて信松尼と自らを称し信忠の霊を弔って人生を終えたと言うから、愛すべきお姫様です。

また今年は家康400周年でもあるのですね。

意義ある2016年です。



東京センテニアルYサービスクラブ 10周年記念祝会」に参加して

中塚辰生

東京コスモスクラブと、共同スポンサークラブとなった、東京センテニアルYサービスクラブ「10周年記念祝会」が、2月20日(土)に、在日本韓国YMCAにて開催され、長谷川会長、小口さんと3名で、参加しました。

当日は生憎の雨模様でしたが、サプライズがあり、八王子クラブの生みの親、奈良昭彦さんが参加されました。

「淡路島からワイズを眺める」と題された、記念講演をして下さいました。

あまりお変わりになっておらず、とても元気そうでした。東京センテニアルYサービスクラブは、私が前回の会長時に、設立・チャーターされ、奈良さんのお嬢様の聡子さん、橋本さんの甥御さんの、高橋邦明ご夫妻も、チャーターメンバーでした。

2005年6月4日の、国際協会加盟認証状伝達式(チャーターナイト)で、東日本区理事であられた、藤井寛敏さん(江東クラブ)から、初代会長の高橋邦明さんに、国際協会加盟認証状が手渡された。

祝会当日は、元国際会長の藤井寛敏さんをはじめ、東新部部長の伊丹一之さんから、設立に至った経緯が、詳しく説明されました。

その他東新部から、共同スポンサークラブの権藤徳彦さん、伊藤幾夫さん他東京クラブ、世田谷、クラブ、あずさ部から、次期部長の浅羽俊一郎さん(東京山手クラブ)、東京たん

ぼぼYサービスクラブからも、参加されました。奈良昭彦さんの記念講演で、印象に残った事は、「グローバルイズ⇒ローカルイズへ」で、YMCAだけで何かをする、ワイズメンズクラブだけで何かをする、に加え、地域のNPO法人や、市民活動グループと連携に入っていく時期だと」提言された！



わくわくビレッジ ボランティア会議

茂木 稔

2月28日(日)にわくわくビレッジにおいて、ボランティアの会議が、京王電鉄からの吉良社長と館長の佐藤氏及びビレッジの係員と、ボランティアの方々14名で持たれました。我々の八王子ワイズメンズクラブからは長谷川会長、並木さん、茂木が参加し、他のグループは、小学生のキャンプリーダーを務める若い女性2人、次にビレッジの山林の手入れを行っている森林インストラクターの男性2人、また、理科の科学の実験をしている八王子工業高校のOBの男性2人でした。

この会議では一般来館者の側に立ってビレッジの気付いたことを言うように頼まれました。しかし、我々もこの施設を何回か利用したことがありますが、ここで宿泊したことは無いので、それら宿泊等に関することは答えられません。また、食堂の献立や価格に付いて聞かれましたが、一般論としてかなりのレベルであり、価格も納得のゆくものであると答えました。

ところで、我がクラブの取り組む花壇作りですが、昨年の9月から取り組みましたが菜の花、日本水仙、西洋水仙、ジャーマンアイリスが植えつけてありますが、3月にはお満開の菜の花が見られると期待していましたが、今は25センチくらいの草丈で、予定の草丈の半分くらいでしたが、花はかなり良く咲いていました。これは日照不足によるものですが、1月に行き見た折に比べればかなり良くなって来ており、だんだんと日照が回復していることが好ましい傾向です。日本水仙はもう終わる頃になって来ましたが、西洋水仙の花芽が沢山見えてきており、3月中にはそのラッ

パが見事に咲くでしょう。これはかなり期待がもてる様子です。他に空き地が少し残っているので、そこには矢車草を移植して5月の開花を期待したいと思っています。5月半ばの評議会の折にはジャーマンアイリスと共に咲きだすのを楽しみにしましょう。

高尾の森わくわくビレッジ報告(3月号)

館長 佐藤信也

3月に入りました。高尾では暖かい陽気となってきましたが、朝晩はまだまだ冷え込みます。皆様もお身体をご自愛頂きお過ごし下さい。

さて、先日2月28日(日)に利用者懇談会がTWVにて開かれボランティアとして関わって頂いている4つのグループへお集まり頂きました。

皆様ご承知の通り、我が東京八王子ワイズメンズクラブは今年から花壇の整備として関わり皆様の手入れのおかげで菜の花が綺麗に花をつけ、日本水仙、西洋水仙も元気に伸びて来ています。

利用者懇談会では、日頃からTWVを利用される中で、利用者視点に立ちそれぞれの施設(ハード面)、フロントやレストランの案内、プログラム(ソフト面)も含み貴重なお話を伺えました。

特に、初めて施設を利用いただく方々へ向け、ホテルのコンシェルジュ的なスタッフがある時間はフロント周りにいてご案内をしてはどうか。施設案内やプログラム紹介などビジュアルでご案内してはどうか等、新たな案内方法のアイデアを頂けたと思います。

また、朝食は予約しないと食べられないのは何故か、御飯や味噌汁のおかわりが出来ることは知らなかった等、運営者としてアナウンスしている事が伝わりきれない事も知る事もできました。

ボランティアの皆様へは多方面でTWVを支えて頂いていますが、「地元ともっと交流してはどうか」など近隣地域を今以上巻き地元との接点を更に増し加える事によりTWV運営へ地域と共に支え合い、地域の共同体として価値ある施設としての機能が果たせる旨のお話も頂きました。

この度頂いた貴重なご意見を今後の施設運営へ活かして行きたいと考えております。ご参加頂きました長谷川会長、茂木メン、並木メンに感謝を申し上げます。ありがとうございました。

3月のTWVは年度終わりの3月は春休みとなり10月頃までは繁忙期を向えます。これからTWVは大変忙しい時期になりますが、3月下旬から4月初旬までは櫻が咲く頃です。

今年はそこに中庭の花壇がかわりきつ綺麗に花が咲きほこり利用者の皆さんを笑顔に迎えてくれると思います。

今後もワイズの皆さんの花壇ご協力を頂けますよう宜しくお願い申し上げます。

中大・学Y便り

梁取直也

ワイズの皆様、永らくご無沙汰致して申し訳ありません。今までの活動の振り返りをとったのですが、何を書こうとしても以前に書いた文章と重複してしまいます。総括のようなものが良いのでしょうか。

ずいぶんと前に思われますが、わくわくビレッジの草刈りの時に書いたのが最初でした。情報だけでなく、自ら動くことの大切さを書きました。その後の約4年間、私は情報に頼りすぎてはいないだろうか。

飲み席での愚痴の様な書き様である次の題名は「自尊心に媚びること」でした。虚栄心と自らへの憐憫を求める自分への非難を述べました。そこで私の言葉は今でも耳が痛くはないだろうか。

皆様への新年のご挨拶や卒業生への嘘の言葉、あるいは被災地での経験なども書きました。あの頃に非難していた自分とどう変わることができたのだろうか。

様々な後悔がありますが、変わることなく、今でも同じ姿勢であることを良しとできることもあります。それはある種の本質を捉えようとする、またそれを大事にすることです。

有るべき姿とは何か、それは押し付けるものの存在はないか、自身の研究や生活でも意識しています。これはワイズの皆様との活動の中で学んだことでもあり、大事に行きたいです。

理屈っぽいことばかり書いてしまうことが私の悪い癖です。それでもお褒めの言葉やご感想を戴けることは寄稿させて頂く時の一つの楽しみでもありました。ワイズの方々は本当に寛容です。

学問はこれからも続けたいと思います。ワイズの皆様に負けてはいられません。皆様からは学ぶべきことが多くありました。例会への参加はいつも楽しみでした。

とにかく嬉しいことは素晴らしい後輩たちが皆様との関係を発展させてくれていることです。ひとつぐもを今後ともお支え下さい。

うまくまとめることができませんでした。書きたいことがありすぎるようです。足りない部分はまたお会いした時にでも。素敵な人達ばかりのワイズの皆様、今後ともどうぞよろしくお願ひ致します。そして素敵な時間を有難うございました。(各段落文頭に感謝の気持ちを添えて)

西東京センター便り

副館長 中里 敦

新年を迎えてからもう2ヶ月も経ち、月日の流れの早さを感じます。少しずつ暖かい日が増えてきました。家の近くの川沿いをランニングしていると、木々からの春の気配を感じられるようになってきました。心なしか散歩している人、ベンチでゆったりされている人たちを見ていると、春の訪れを心から楽しんでいるように感じます。心の中も穏やかに明るくなってきます。皆様の中にも春の訪れを待ち望んでいる方も多いのではないのでしょうか。

心穏やかになる春の3月ですが、年度末のセンターは慌ただしい1ヶ月でもあります。障がい者のキャンプに始まり、春のキャンプに向けてのリーダー会、リーダートレーニング、各活動の評価など1年間を振り返り、新年度に向かいます。そして何よりもリーダーたちの卒業があります。

リーダー活動ではたくさんのお会いがあり、その出会いの中で多くの学びをしていきます。プログラムに参加してくるメンバーや保護者との出会い、同じ思いを持って活動をするリーダーたち、そしてYMCAに関わるワイズメンズクラブや会員の方々など様々な出会いがあります。子どもたちとの活動は、今だけを見るのではなく、将来に向けて様々な種をまくことが大切だと思いながら行っています。仲間やリーダーと過ごした一つひとつの経験が、今は分らなくとも将来花開く時がくると信じています。同様にワイズメンズクラブや会員の方々には、リーダーたちの心に種をまき、そして暖かく育てていただきました。リーダーたちも社会に出て改めてこのことに気付くのではないのでしょうか。多くの方々に支えられながら貴重な経験を積んできたからこそ今の自分があることを知り、そのことに感謝する時が来ると思います。そして、花開かせてYMCAでの経験を社会で大いに役立ててくれるものと信じています。皆様には、今年度もお支えいただいたことに心より感謝いたします。卒業リーダーを見送ることは寂しくもありますが、将来の活躍を願って送り出したいと思ひます。

そして、新年度には新しいリーダーたちが入ってきます。引き続き共にリーダーたちを育ててくださいますようお願い申し上げます。

(お 話)

マイナンバー制度が発足しました。黙示録によりますと終末に獣がこの世を支配する時期を暗示しています。そのとき人間は皆666という数字を獣によって刻印され、その刻印を受けていないと何も出来ないことになるという有名な話です。

この話を思い出させるように、私たちに番号がつけられ、その数字がないと何もできなくなりつつあります。先日ある会社からマイナンバーを知らせてほしいという要請がありました。税金との関係です。ジワリと国がらみのマイナンバーによる管理が始まってきているのを感じました。

別の面ではもうとっくに始まっているのはご存知の通りです。各種の暗証番号など忘れがちです。インターネットでwwwという記号はお馴染みですが、これは666を示しているの、黙示録の話はおとぎ話ではなく、身近なものなのです。そのうち世界中の人が数字でコントロールされるようになるかもしれません。そんな時代にワイズはどんな動きを期待されるのでしょうか。

仲田達男



日時：2016年2月13日（土）18：30～20：30

会場：北野事務所小会議室（B班担当）

小口・中里・中塚・山本・長谷川・久保田・辻・並木・茂木・橋本・福田 合計11名

【報告・連絡事項】

・第2回あずさ部評議会

2月13日（土）11：30～15：00 松本 あがたの森
参加者—小口・並木・長谷川

・東京センテニアルYサービスクラブ10周年記念祝会

2月20日（土）15：00～17：30 会場：在日本韓国YMCA
参加者：小口・中塚・長谷川

・2月メネットナイト

2月27日（土）18：00～20：00 北野事務所大会議室
卓話「松姫と徳川家康」村瀬彰吾氏
会費：TOF 例会なのでおにぎりです。

300円—ゲスト・ビジター・メネット

・高尾わくわくビレッジ懇談会（地元ボランティアの中の一団体として）2月28日（日）10時～12時

佐藤館長より要請があり、並木・茂木・長谷川が参加

・街頭募金・3月5日（土）集合午後1時45分

JR八王子駅北口階段下正面 午後2時～4時

・次期クラブ会長・部役員研修会・・・3月5～6日

東山荘 参加：中塚（次期クラブ会長）

・第18回チャリティコンサート

3月12日（土）北野市民センター 集合：9時30分

・3月第二例会・・・3月26日（土）18：00～20：00

北野事務所小会議室（C班担当）

・4月第一例会・・・4月9日（土）18：00～20：00

北野事務所大会議室（C班担当）

卓話「みんなで故郷の盆踊りを楽しみましょう」

相原安津子氏（日本フォークダンス連盟日本民謡講師）

・4月第二例会・・・4月23日（土）18：00～20：00

北野事務所小会議室

【協議事項】

・在京ワイズ合同新年会 133名・薛恩峰牧師

八王子クラブからは16名の出席

収支差引 65,000円・・・寄付をどこにするかメーリングでも提案し、2月第二例会で決める

日本YMCA 同盟100周年記念募金 または 東日本大震災支援対策本部

・東京八王子クラブ上半期決算報告について

・東京センテニアルYサービスクラブ10周年記念祝会へのお祝金について

・第3回あずさ部評議会・・・5月14日（土）13：00 登録受付 13：30～ ホストは八王子クラブ

会場：高尾わくわくビレッジ 研修室2 午後の時間帯
（定員120名）払い込み済9,368円登録費の件：未定

***第19回 東日本区大会**

2016年6月4（土）5日（日）長野市

* 老人デイサービスセンター 鍾水*

【報告】

2月15日（月）ペーパーフラワー 14：00～15：00

参加者：赤羽・石井・色川・下重・山口・山中・茂木

【予定】

3月28日（月）ペーパーフラワー 14：00～15：00

BF 2015年度明細報告

2015年3月～2016年2月

国内 久保田：165g 小口：53g 多河：160g 辻：80g 仲田：100g 長谷川：50g 眞野：15g 山本：100g 津田：500g 調：195g 計1418g 海外 多河：5g 仲田：20g 総計：1443g(規格外128g)
担当：福田（切手担当たんぽぽC 小原史奈子氏へ送付）

西東京センター行事紹介

【3月】

11日（金）東日本大震災5周年復興支援活動報告会及び街頭募金

@西東京センター

震災後、毎年3月11日に行っています。復興支援活動報告や国立駅前での街頭募金も行い復興支援にあてています。ご参加お待ちしております。

時間：14時45分～17時30分（部分参加も歓迎）

【4月】

2日（土）～3日（日）さくらフェスティバル

@谷保第三公園（国立市富士見台2-34）

武蔵野・多摩ワイズメンズクラブとリーダーを中心に、国立市のお祭り「さくらフェスティバル」で子どもたち対象のクラフトやバザーを行います。当日のご参加、バザーの献品のご協力をお願いしております。

29日（金・昭和の日）ペタペタの会八王子ウォーク

八王子市の多摩丘陵コースをめぐる。絹の道や長沼公園新緑を愛でて、ランチには麦とろ飯をいただく予定です。

時間：10時00分～14時00分

参加費：無料（ただし、交通費、飲食代等は各自負担）

3月誕生日の会員

茂木 稔	3月11日
眞野 範一	3月13日
酢屋 園江	3月13日
長谷川あや子	3月19日
並木 雍子	3月19日
茂木 洋子	3月23日